

消化器センター便り ①



副院長兼消化器センター長
藤本 康二

日頃から患者さんをご紹介いただき誠に有難うございます。このたび、消化器疾患の患者さんの検査、治療をより迅速、的確にすすめるため「消化器センター」を設立いたしました。

近年の目まぐるしい消化器疾患における内視鏡診断・治療及び腹腔鏡手術の進歩に伴い、現在では今まで以上に内科、外科のスムーズな連携が必要とされています。例えば、早期胃がんの治療において、内視鏡的粘膜下層剥離術と腹腔鏡下胃切除術のいずれで行うかの判断は、内科、外科合同のカンファレンスで決定していく必要があります。当センターでは毎週火・水曜日の週2回、合同カンファレンスを開催しています。

また、毎週月曜日の午前中に「消化器センター外来」を新たに開設いたしました。先生方が診療

されている消化器疾患の患者さんで、内科、外科どちらにご紹介いただくか迷われるような場合、是非この「消化器センター外来」へご紹介いただければと存じます。必要な検査を迅速に施行させていただき、内科、外科両方の立場からの確な診断を行い、治療させていただきます。また、当院での診療経過をご報告し、その後の経過観察を先生方と一緒にさせていただければと考えております。

次号以降、消化器センタースタッフの紹介、消化器疾患のトピックなどをご紹介してまいりたいと思います。何卒宜しくお願い致します。「消化器センター」へのご意見、ご質問がございましたら、地域連携室(TEL: 078-261-6739)までご連絡いただければ幸いです。

第 29 回研究カンファレンス(個の医療研究会共催)

外来 COPD 患者および人工呼吸器管理患者 における最新の理学療法研究と治療

～当院リハビリテーションセンターの研究実績と治療成績～

4/26 (木) 18 時 00 分～19 時 00 分

神鋼記念病院リハビリテーションセンター

理学療法士 藤沢 千春

申込
不要

- ◆ 場 所：神鋼記念病院 呼吸器センター5階 大会議室
(神戸市中央区脇浜町 1-4-47 TEL：078-261-6711)
- ◆ その他：日本医師会生涯教育認定講座 1 単位申請
- ◆ お問合先：神鋼記念会 総合医学研究センター 担当：兒山(こやま)
TEL：(078)261-6711(代表)

Medical News

2018 年 4 月
Vol.130

Shinko
Hospital

Contents

- *特集：診療科紹介
[形成外科]
- *開業医探訪
[たかくら内科・循環器科]
- *消化器センター便り
- *Information
・講演会のご案内

■ 神鋼記念病院理念

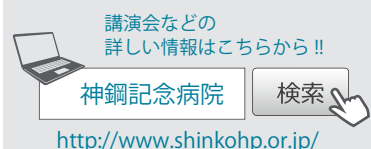
公益性を重んじ、質の高い医療を通して、皆様に愛される病院を目指します。

■ 基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47
TEL：078-261-6711 (代表)
FAX：078-261-6726
URL：http://www.shinkohp.or.jp/
発行責任者：理事長 山本 正之
編集責任者：神鋼記念病院広報委員長
山神 和彦



神鋼記念病院 Medical News 2018

4

[特集 診療科紹介]

神鋼記念病院 形成外科

形成外科の診療範囲

日本に形成外科が誕生してから既に60年以上が経過していますが、いまだに形成外科の診療範囲が周知されているとは言い難いと感じています。他の診療科と異なり、特定の臓器を診療対象としていないことが、形成外科が分かりにくい科となっている理由のようです。

日本形成外科学会のホームページには、「形成外科とは、身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質“Quality of Life”の向上に貢献する、外科系の専門領域です。」と書かれています。たしかにその通りなのですが、やはり分か



科長 奥村 興
平成10年卒
形成外科専門医
皮膚腫瘍外科分野指導医



医師 北野 豊明
平成23年卒
形成外科専門医



専攻医 白木 恵梨子
平成28年卒

りにくさは拭えません…。

形成外科は頭から足先まで表層のみならず、骨や筋肉、内臓まで扱いますので、その診療範囲の広さも逆に形成外科を分かりにくくしている原因かもしれません。実は形成外科の診療範囲は広すぎるため、

個々の病院ですべての範囲を網羅するのは困難となっているのが現状です。

今月号では神鋼記念病院の形成外科が地域医療の中で担っている診療範囲について、具体的にご紹介させていただきます。

当院形成外科における診療範囲

1. 一般外傷

擦り傷、切り傷、挫創、ヤケド、犬猫咬創などの日常的なケガです。最新の創傷外科知識を駆使して「早く、痛くなく、綺麗に」を心がけて治療します。

ケガの傷跡が綺麗に治るかどうかは初期治療の良し悪しがすべてと言っても過言ではありません。傷が治ってからも、希望される患者さんには傷跡のケアを指導して、出来る

だけ綺麗な傷跡を目指します。

2. 特殊外傷

顔面外傷・顔面骨骨折、切断指・挫滅指、末梢神経・末梢血管・手指腱断裂など。顔面の外傷は整容性に大きく関わり、^{まぶた}瞼・鼻・唇・耳などは特殊な知識を必要とする部分となり初期治療が肝心です。また、鼻骨・頬骨・眼窩骨などの顔面骨骨折も実は形成外科の領域であり、手術

適応の有無を含めて特殊な配慮をもって治療にあたります。

切断指の再接着には顕微鏡下の微小血管吻合技術(写真)を用いて対応しており、不幸にして挫滅が強く再接着が不可能な症例に対しては、種々の皮弁形成術を用いて出来るだけ機能的にも整容的にも良好な指の再建を行っています。刃物やガラスによる深い切創では、腕や手指の重要な神経や血管、腱が断



裂することがあります。これらの修復も顕微鏡下手術を用いて行っています。

3. 傷跡・ケロイド

ケガの傷跡、手術のキズ跡が目立つ場合や、引き攣れる場合、ケロイドのように赤く盛り上がって痛痒さを伴う場合などには、様々な方法を用いてきずあとを目立たなくしたり症状を改善することが可能です。

一度出来てしまったキズ跡をまったく何もない元の状態に戻すことは不可能ですが、治療をすることで他人が見ても気にならない程度に綺麗にすることは可能です。多くのケースで比較的簡単な外来手術で対応することができ、健康保険を用いての治療が可能です。ケロイドについては薬物治療を行うことで大幅に症状を緩和することが可能です。

4. 皮膚皮下腫瘍

頭から足まで全身の一般的な皮膚の「できもの」(脂肪腫、粉瘤、ホクロをなど)から、神経・血管の剥離を必要とするような軟部腫瘍や、基底細胞がん・有棘細胞がん等の皮膚悪性腫瘍の手術治療を行います。

ケガの治療と同様に綺麗なキズ跡となるように配慮して手術し、特に顔面などのキズ跡が気になる部位の腫瘍を形成外科の手技を用いて、いかに根絶的にかつ綺麗に仕上げるかが形成外科医の腕の見せ所となります。

5. 難治性皮膚潰瘍

糖尿病性壊疽、褥瘡、重傷下肢虚血による壊疽、静脈鬱滞性下腿潰瘍などの治療。近年、これらの難治性皮膚潰瘍の病態解明がすすみ、今までなら大切断となっていたような創に対して、循環器内科医や糖尿病内科医などとの協力のもと、救肢が可能となってきています。

形成外科では創傷治癒理論に則った適切な創傷管理や皮弁による創閉鎖手術・植皮術を行ったり、下肢静脈瘤が原因となっている場合にはストリッピング手術を行ったり

しています。

褥瘡については適切な創管理の指導に主眼をおき、手術適応となるものについては積極的に手術による創閉鎖も考慮いたします。

6. まぶたの治療

加齢やコンタクトレンズなどによる影響で、まぶたが開きにくくなる状態を眼瞼下垂症といいます。視野が狭くなって物が見にくだけでなく、努力して開瞼し続けていることで頭痛や肩こりの原因となりますので、日常生活に影響が出ることもあります。治療には手術が必要にはなりますが、片目30分程度で終了する比較的容易な局所麻酔手術です。

まぶたは表情の印象に最も大きく影響する部分ですから、まぶたを開くという機能面のみならず、それぞれの患者さんに合った雰囲気となるように整容性にも十分に配慮して手術を行います。

上眼瞼・下眼瞼の逆まつげについても整容性に配慮した手術を行っています。

7. 乳房再建

神鋼記念病院乳腺センターのスタッフとして乳がん手術後の乳房再建術を積極的に行っており、年々症例数が増加しています(図1)。

乳がん切除と同時に行う一次再建と過去の乳がん手術後の変形に対する二次再建の両方に対応しています。再建法についても腹部脂肪や背部組織を用いる自家組織再建からシリコンインプラントを用いた再建まであらゆる方法を用意しており、個々の患者さんに合った手術法を相談したうえで決定しています。

当院は、特に顕微鏡下微小血管吻合を用いた下腹部穿通枝皮弁法(DIEP flap)による乳房再建術においては国内トップクラスの症例数となっております。なお現在、乳房再建術はほとんどすべての手術法が健康保険の適応となっています。

おわりに

神鋼記念病院形成外科が得意としている診療範囲について具体的にご紹介させていただきました。

形成外科ならではの独特の特殊な手技を用いて治療にあたることで、

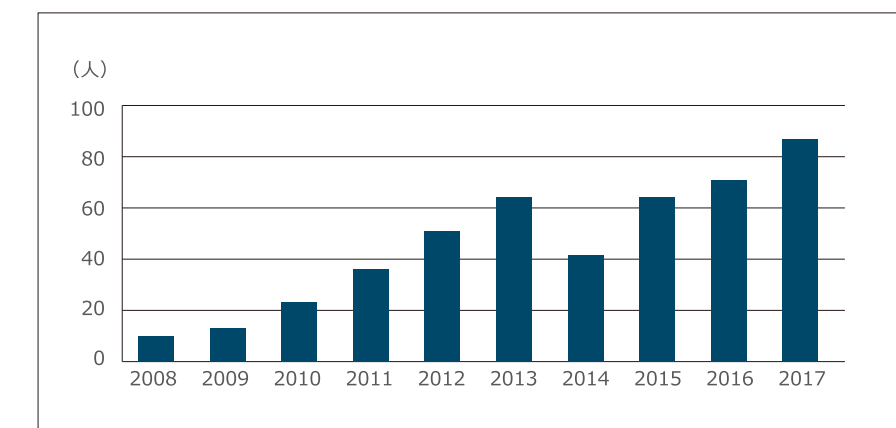


図1 神鋼記念病院における乳房再建患者数

8. リンパ浮腫

乳がん術後の上肢リンパ浮腫や骨盤内悪性腫瘍手術後の下肢リンパ浮腫に対して、バンデージ・スリーブなどによる圧迫治療を指導管理するリンパ浮腫ケア外来をリンパ浮腫指導技能者の資格をもつ看護師の主導で開設しています。

また、適応を十分に検討したうえで、手術によるリンパ浮腫治療(顕微鏡下微小血管吻合技術を用いたリンパ管細静脈吻合術)も積極的に行っており、圧迫治療と組み合わせることでリンパ浮腫の改善を目指しています。

今までよりさらに良好な結果を得ることができる「+α」の治療を提供して、患者さんの生活の質を改善することが可能となります。

今後も地域医療に役立てる形成

外科を目指して精力的に取り組んでまいりたいと思います。ご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

開業医探訪
Vol.38
inquires into a doctor

【内科、循環器科】

たかくら内科・循環器科

今回の開業医探訪は、JR 摂津本山駅から南へすぐにある「たかくら内科・循環器科」へお伺いしました。



■ 診療を開始されてどれくらいになりますか？

私は徳島県出身ですが、学生時代を兵庫県で過ごしたこともあって、平成14年12月に現在の場所で診察を始め、16年目に入ったところです。

■ どのような患者さんが来院されますか？

近隣に大きなマンションが建ち、若い家族が多く住まれるようになりましたので、お子さんを連れて来院される方が多いです。もちろん昔から住まれているご高齢の方も来院され、専門の循環器疾患だけではなく、「かかりつけ医」として風邪や胃腸炎などをはじめとした日常診療を行っています。

■ 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

医師と患者さんとの信頼関係作りが、診療を行うにあたって大変重要と考えています。そのうえで、患者さんの思いを確認しながらより良い医療を提供できるように努めています。また、検査や治療に関して、疑問に思われたりする場合もありますが、しっかりと説明しながら診療しています。

■ ひとこと

今後、地域により根付いた医療を実践できるように頑張っていきたいと考えています。そのために、医師としての技量の維持・向上はもちろんですが、人間としても更に成長できるように精進していこうと思っています。

information

- 神戸市東灘区本山南町9丁目8-37 カカクレビル1階
- TEL : 078-435-0656
- 診療科 : 内科,循環器科

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	×
16:00~19:00	○	○	○	×	○	×	×

※火曜日の午後の診療時間：15：00～18：00



院長 高倉 正裕 先生